

カップルに おすすめの 旅行特集

ストレスフリーな旅のヒント、
夢のような逃避行、
絶対体験すべき冒険、
そしてローカルだけが知る裏ワザ

幸せあふれるフィジーへ

📍 マンタレイ・アイランド・リゾート、ヤサワ諸島

visitfiji.jp



ブラ！

ハネムーン、ベビームーン、記念日、あるいは二人きりの大切な時間を求めてフィジーを訪れるなら、このガイドで必要なポイントをシンプルに押さえましょう。

夢のような大人専用リゾートや島巡りのアイデア、ロマンチックなアクティビティに、賢いパッキングのヒントまで。フィジーでの旅を忘れない思い出にする方法をご紹介します。

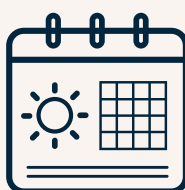
フィジーってどんなところ？



フィジーは 333 の島々を誇ります。主な島はビチレブ島とバヌアレブ島で、その他にマmana諸島やヤサワ諸島などの島グループに属する小さな島々があります。



フィジーの人々は、先住民のイ・タウケイをはじめ、インド系フィジー人、欧州系混血、中国系フィジー人、そして太平洋諸島の少数民族が入り混じった、多文化社会を形成しています。



夏 | 11 月～4 月 (雨季)
冬 | 5 月～10 月 (乾季)
平均気温は 22°C～31°C 程度です。



かつてイギリスの植民地だったため、英語、フィジー語 (イ・タウケイ語)、フィジー・ヒンディー語が至る所で話されています。

フィジー人みたいに話してみよう！

BULA (bu-lah ブラ)
こんにちは / やあ

VINAKA VAKA-LEVU
(vi-na-kah va-ka-leh-voo ヴィナカ・ヴァカレヴ)
ありがとう / どうもありがとう

MOCE (moh-they モーチェ)
さようなら

KEREKERE (keh-reh-keh-reh ケレケレ)
お願いします

SEGA NA LEQA (seh-gah nah leh-ga セガ・ナ・レガ)
気にしないで

SOTA TALE (soh-tah tah-leh ソタ・タレ)
また後でね！

幸せあふれるフィジー

visitfiji.jp





フィジーがカップルに ぴったりの6つの理由

思っているより、ずっと近い

日本からは直行便でわずか 9 時間ほど。ワンワールドに加盟するフィジーエアウェイズなら、日本航空(JAL)などの国内線との乗り継ぎで、日本各地から快適かつスムーズにアクセスできます。フィジーエアウェイズはナンディ国際空港を拠点に、東京をはじめ、香港、シドニー、ダラス・フォートワースなど 27 都市へ就航しています。

予算以上の贅沢が叶う

為替レートが有利なため、ビーチフロントのブレ（コテージ）、サンセットクルーズ、カップルマッサージ、あるいは星空の下でのプライベートディナーなど、思う存分贅沢を楽しむ余裕があります。

愛の言葉が溢れる国

到着した瞬間から、満面の笑みと温かい「ブラ！」の挨拶で迎えられます。フィジーの人々は、ハネムーンや記念日、二人だけの特別な瞬間をお祝いすることを心から楽しんでいます。すべての体験をロマンチックで、あなただけの忘れられない思い出にするために、いつも一歩先を行くあたたかいおもてなしで迎えてくれます。

大人限定のリゾート

大人専用プール、ビーチフロントのブレ、プライベートプランジプール、キャンドルライトディナー、二人のためのスパパビリオン……日々の忙しさを忘れ、二人の時間を取り戻すためのすべてが揃っています。

豊富なアクティビティ

鮮やかなサンゴ礁でのシュノーケリング、滝へのハイキング、無人島でのピクニック、サーフィンやダイビングのレッスン、あるいは料理教室やフィジアンスパの体験など、二人で共有できる冒険がたくさんあります。

心のこもった特別体験

夢のようなヨットチャーターや数日間のクルーズ、プライベートピクニック、プールでのフローティング・ブレックファスト、贅沢なカップルマッサージを満喫。さらに一部のリゾートでは、細部まで行き届いたおもてなしを提供する専属バトラーにすべてを委ねることもできます。

フィジー旅行 のハードルは低い

直行便と様々なフライト

フィジーエアウェイズは成田－ナンディ間の直行便を運航。さらに、日本各地からの乗り継ぎもスムーズなため、東京以外の地域からも快適にフィジーへアクセスできます。

アライバルビザ（到着ビザ）

フィジー政府は日本を含む一部の国に対してビザ免除措置を講じており、入国審査時にパスポートと必要書類を提示することで、最大 4 ヶ月間の滞在許可が付与されます。

フィジーエアウェイズの特典

フィジーのナショナル・キャリアは、フィジー国内の島々を結ぶ国内航空会社（フィジー・リンク）も運航しています。そのため、フィジー到着後の移動も含めて一括での予約が可能です。さらに、ワンワールド・アライアンスのメンバーでもあるため、マイレージポイントを貯める（または使用する）ことができます！

スマートなストップオーバー

フィジーは、太平洋を横断する長距離フライトの経由地として最適です。数日間滞在し、旅の疲れを癒やすことができます。

よくある質問

水道水は安全ですか？

主要なリゾートや街では、水道水は基本的にそのまま飲むことができますが、多くの施設では浄水やボトルウォーターを推奨しています。

海は安全ですか？

フィジーはスイミングやシュノーケリングに最適です。天候を確認すること、公認ツアーガイドと同行すること、海洋生物を尊重すること、そしてサンゴには触れないようにすることを忘れずに心がけましょう。

夜間の移動は安全ですか？

車での移動は 24 時間可能ですが、ボートや国内線は日没後に運航しないため、事前の計画が大切です。

現金は必要ですか？

ほとんどのリゾートでクレジットカードが利用できますが、地元の市場やスーパーマーケットでの買い物には、少額の現地通貨を持ち歩くと便利です。

実用的なアドバイス

ぴったりの場所を選ぼう

本島のリゾートには大人専用のエリアを設けているところも多く、コスパの良さが魅力です。地元のレストランへのアクセスも便利なほか、内陸部や近隣の島々への日帰り旅行も気軽に楽しめます。一方、離島はよりプライベートで、ブティックスタイルの大人専用リゾートや静かな環境、手つかずのビーチ、そしてあの夢のような無人島気分を味わえます。

二人のロマンスのスタイルを決めよう

リラックス＆リチャージ：大人専用リゾート、プライベートブレ、プランジプール、スパ。

アクティブに楽しむ：サーフィン、ダイビング、サメ＆マンタシュノーケリング、ジップライン、リバーラフティング、滝ツアー、ヘリコプターツアー、無人島ピクニック。

食＆文化：料理教室、カバ儀式、地元の市場、遺跡・名所。

含まれる内容を確認しよう

食事、アクティビティ、スパクレジット、プライベートな体験が含まれるリゾートもあれば、すべてがアラカルトで提供されるリゾートもあります。事前に少し確認しておくだけで、現地での「困った！」を防げます。

賢くパッキングしよう

フィジーの日差しは強烈です。サンゴに優しい日焼け止め、ラッシュガード、リーフシューズ、水着、軽装、防水バッグ、マイ水筒を必ず用意しましょう。また、ロマンチックなディナーを予定しているなら、少しおしゃれな服装を 1、2 着と、肌寒い夜用にカーディガンや上着を一枚入れておくのがおすすめです。

地元の市場やスーパーで買い物をしよう

地元の市場やスーパーマーケットで果物やおやつを追加で買っておきましょう。リゾートや離島ですべてを購入するより、ずっと安く済むことが多いからです。

「フィジー・タイム」を味わおう

フィジーでは物事がゆっくりと進みますが、それこそがこの国の最高の魅力です。地元の人々はいつも、「Sega na leqa（セガナレガ／気にしない、なんとかなるさ）」と笑顔で声をかけてくれます。旅程には余裕を持ち、大らかに構え（完璧を求めず）、のんびりとしたペースを楽しみましょう。



カップルにおすすめのベストエリア

ロマンチックなブティックリゾートはフィジー全土に点在していますが、ここでは特におすすめの場所をいくつかご紹介します。

エリア

宿泊施設

アクティビティ

ビチレブ島（本島）

ナンディ / デナラウ

デナラウ島の大型リゾート（大人専用エリアあり）

内陸部や離島への日帰りツアー。ATV や電動バイクツアー、ジップライン、料理教室。

コーラル・コースト

大人専用エリアのある大型リゾート

ビーチ、シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、釣り、内陸・離島日帰りツアー、ATV、滝、ジェットボートサファリ、歴史と文化。

サンコースト

大人専用
ブティックラグジュアリーリゾート

ビーチ、シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、釣り、内陸・離島日帰りツアー、滝と文化。

パシフィック・ハーバー

大人専用
ブティックラグジュアリーリゾート

オフロードバギー、滝、ジップライン、リバーラフティング、リバーチュービング、釣り、島／サンドバー日帰りツアー。

バヌアレブ島

サブサブ

大人専用＆ブティックラグジュアリーリゾート／ダイビングリゾート

シュノーケリング、ダイビング、滝、釣り、日帰りツアー。

諸島（離島）

ロマイビティ諸島

大人専用ブティックラグジュアリーリゾート

ビーチ、シュノーケリング、ダイビング、歴史と文化。

ママヌザ諸島

大人専用＆ブティックリゾート

ビーチ、シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、釣り、フローティングバー、ヨットチャーター、数日間のクルーズ。

ヤサワ諸島

大人専用＆ブティックリゾート

ビーチ、ハイキング、シュノーケリング、ダイビング、洞窟遊泳、マンタ＆サメシュノーケル、ヨットチャーター、数日間のクルーズ。

ラウ諸島

大人専用ブティックラグジュアリーリゾート

ビーチ、シュノーケリング、ダイビング、ヨットチャーター、歴史と文化



地域に貢献する3つの方法

ロロマ・ホーム/トレジャー・ハウス

恵まれない子供たちのためのこれらの施設で、本や文房具、衣服を寄付して、子供たちを笑顔にしましょう。

アニマル フィジー

このナンディのシェルターで寄付や見学をして、献身的な獣医さんたちによる素晴らしい動物保護活動を応援しましょう。

ザ ホース サンクチュアリ フィジー

パシフィック・ハーバー近くにあるフィジー初の馬の保護・リハビリ施設を訪れたり寄付したりして、この素晴らしい活動に参加してみましょう。

サステナブルな旅をするための4つの方法

サンゴ礁を守ろう

フィジーで泳ぐ際は、サンゴ礁に優しい日焼け止めを塗り、サンゴの上に立たないようにしましょう。そうすることで、サンゴが元気に育ち、美しい状態を保つことができます。

地元のものを買う・食べる

地元の人々が行く場所に足を運び、地元の職人や農家、レストランを応援しましょう。フィジーの文化や食を楽しむ体験できるだけでなく、カーボンオフセットにもつながり、さらにお財布にも優しいのです！

プラスチックにNOを

フィジーにはリサイクル施設がないため、プラスチックの使用を減らすのは当然の選択です。私たちの楽園を美しいまま保つのにご協力ください。マイボトルやマグカップを持参し、ストローは使わず、ビニール袋の代わりにトートバッグを使いましょう。

ロロマ・アワーで貢献しよう

ロロマ・アワーはフィジー流のハッピーアワー……でも、もっと心が満たされる特別な時間です。「ロロマ」とは、寛大な心と愛をもって行動することを意味します。この観光業界の取り組みは、旅行者の皆様にも少なくとも1時間を使っていただき、フィジーに良い変化をもたらす活動に参加するよう呼びかけるものです。サンゴ礁でのサンゴ植え付け、村人との伝統工芸学習、あるいは在来の野生動物の保護支援など、どのような活動であれ、ロロマ・アワーはあなたの休暇を本当の意義のあるものに変えてくれます。

カップル旅行のための 持ち物リスト

荷造りチェックリストに以下を追加してください。

衣類

軽量で通気性の良い服（コットン、リネン）
薄手のセーターまたはカーディガン（冬の夜用）
寝間着
履き心地の良いウォーキングシューズ／サンダル
帽子／キャップ

水遊び・海水浴

水着（複数セット）
ラッシュガード
リーフシューズ（マリンシューズ）
防水バッグ
防水スマホケース
ビーチタオル（リゾートで提供されていない場合）

必需品

日焼け止め（サンゴに優しいものがおすすめ）
虫除けスプレー / 虫除け
経口補水液や電解質補給パウダー
処方薬（常用薬）
洗面用具
簡易救急セット
（離島や人里離れた場所に滞在する場合）

食べ物

好きなおやつ
マイ水筒

あると便利なもの

モバイルバッテリー
小さなリュックやカバン
サングラス
洗濯物を入れる袋（ランドリーバッグ）
「ブラ・スマイル」（笑顔）

幸せあふれるフィジー



F I J I

幸せあふれるフィジーへ

ブラをシェアしよう！

ハッシュタグ：

#幸せあふれるフィジー
#フィジーハッピー
#フィジー

公式アカウント：

Instagram：@tourismfiji.jp
TikTok：@tourismfiji.japan
YouTube：@tourismfijijapan

詳しくはこちらをご覧ください：visitfiji.jp

